

事業概要

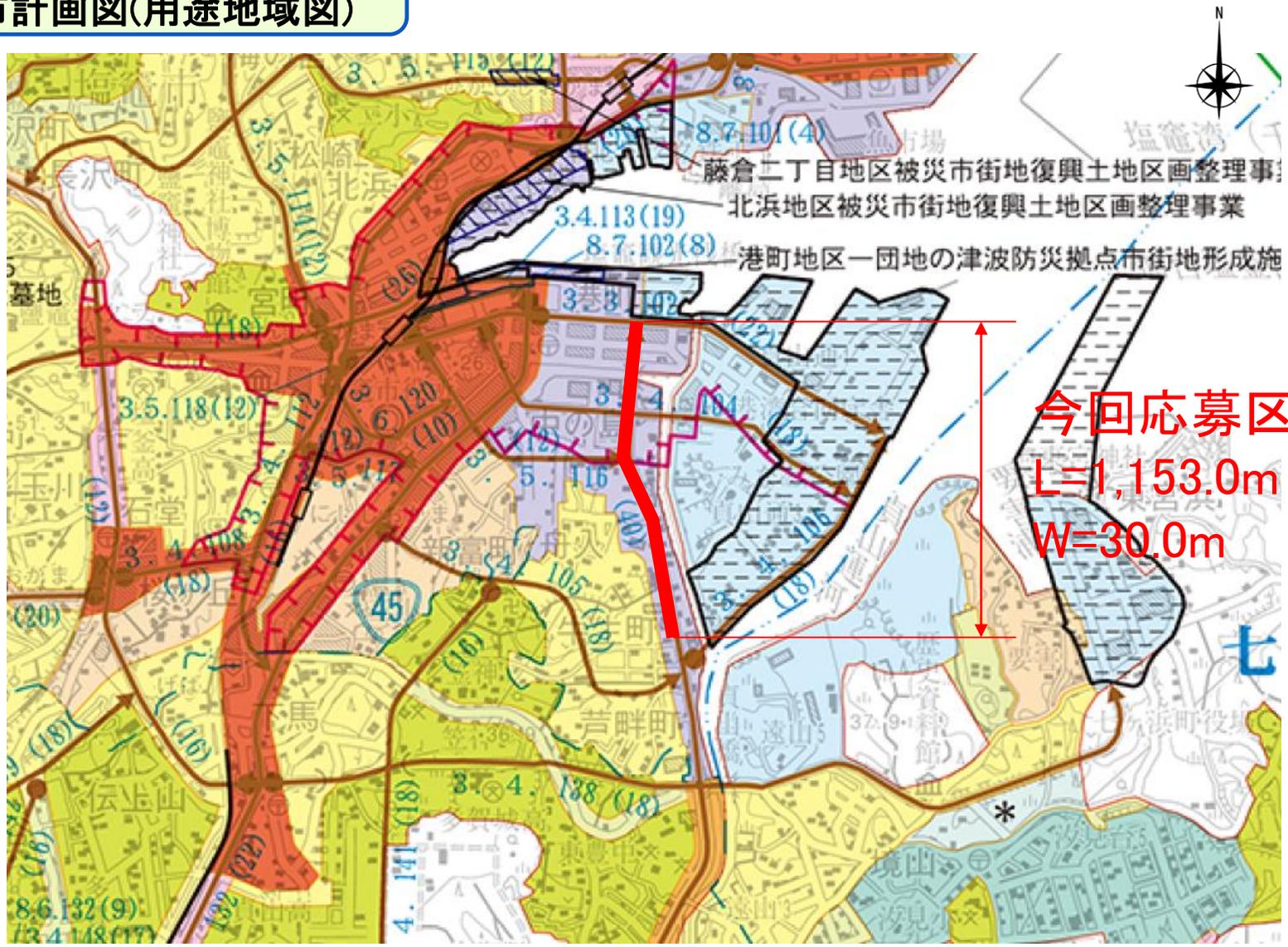
(宮城県：(都)八幡築港線)

応募No.	2		
事業主体	宮城県	事業箇所	宮城県塩竈市中の島地先
応募者名	宮城県 土木部 都市計画課		
ふりがな 事業名称	せんえんこういきとしけいかくじぎょう やわたちっこうせん ふないり・なか しま 仙塩広域都市計画事業 (都)八幡築港線 (舟入・中の島工区)		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、仙台市中心部から多賀城市，塩竈市を経て国際拠点港湾仙台塩釜港を結ぶ都市計画道路であり，産業基盤道路のアクセス性の向上や円滑な交通の確保を目的として，平成26年に事業認可を取得後，4車線化の拡幅整備を実施し，令和4年3月に完成したものである。</p> <p>また，東日本大震災により広域地盤沈下した道路を本事業で約80cm嵩上げすることにより，大潮時における沿道部への浸水被害を防止するとともに，災害時の避難路として活用することが可能となり，地域の防災安全性の向上にも寄与するものである。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約1.2km	
	幅員(m)	30m	
	事業期間(和暦)	平成23年度～令和3年度	
	事業費(億円)	約73億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/yahatatikukousen/yahatatikukousen2.html		

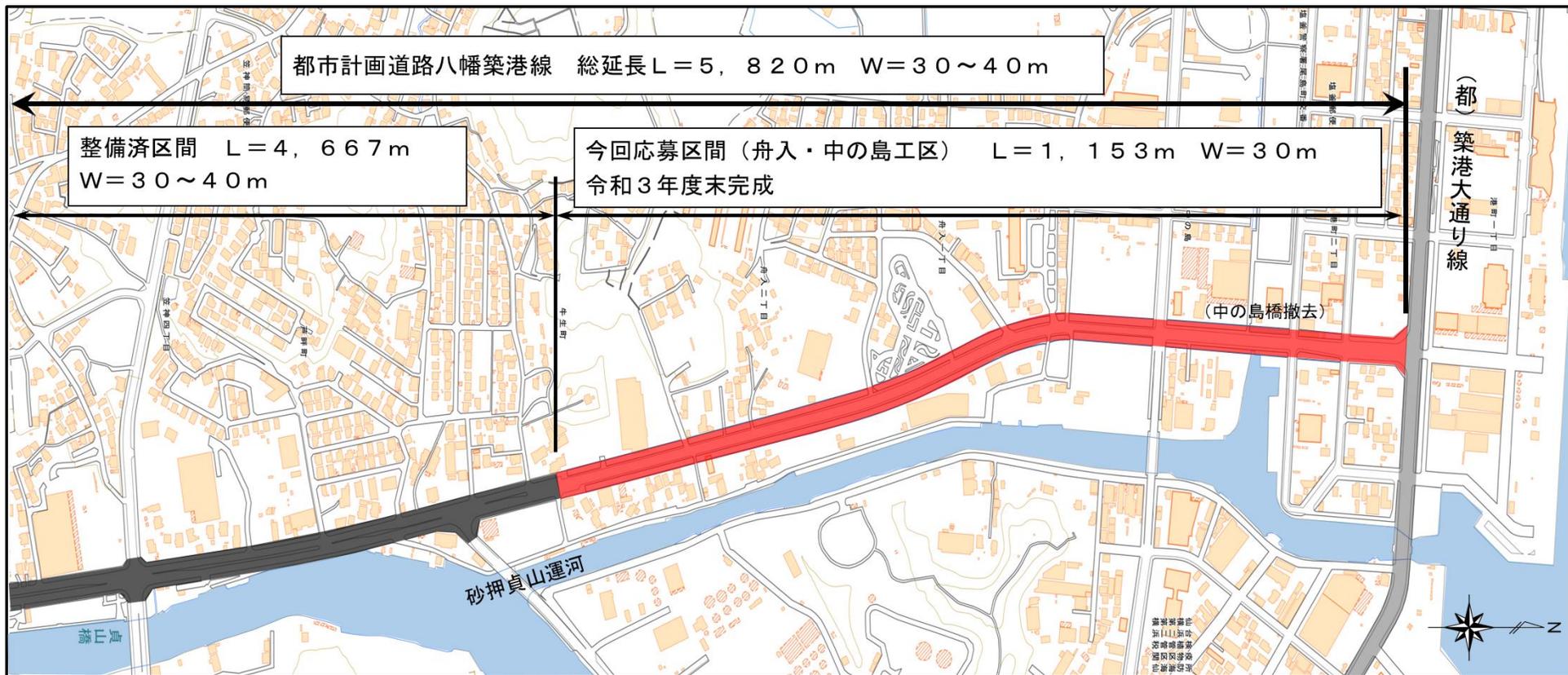
事業位置図



都市計画図(用途地域図)

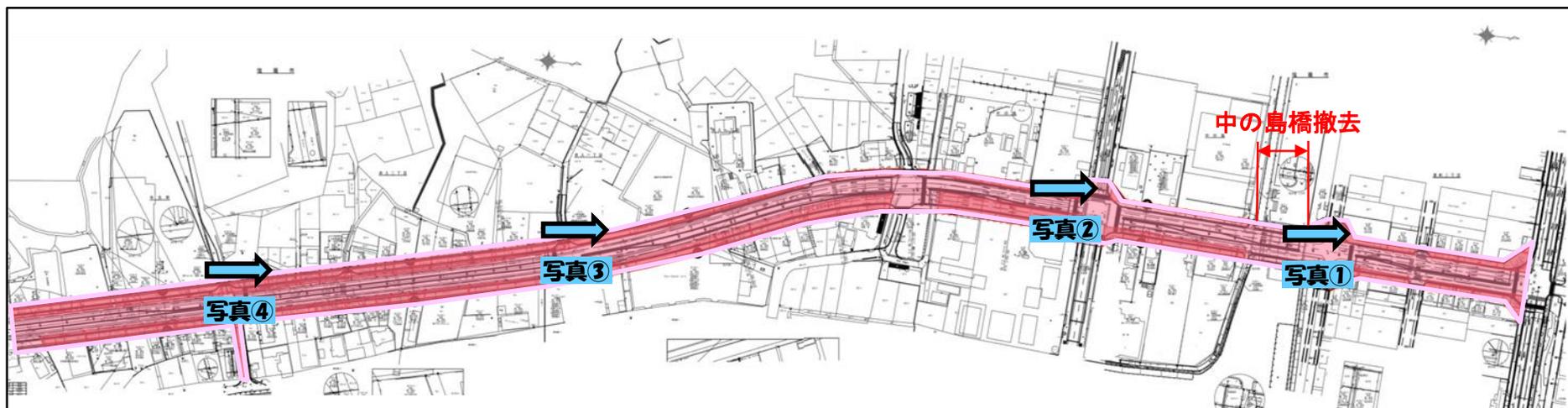


路線全体の進捗状況



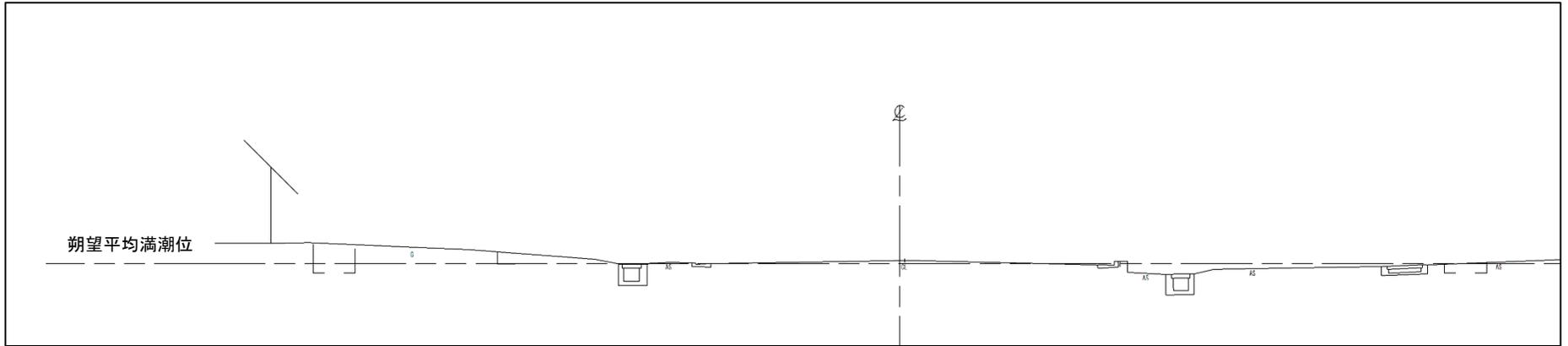
凡 例	
	今回応募区間
	施行済区間(完成区間)
	既設幹線道路

平面図

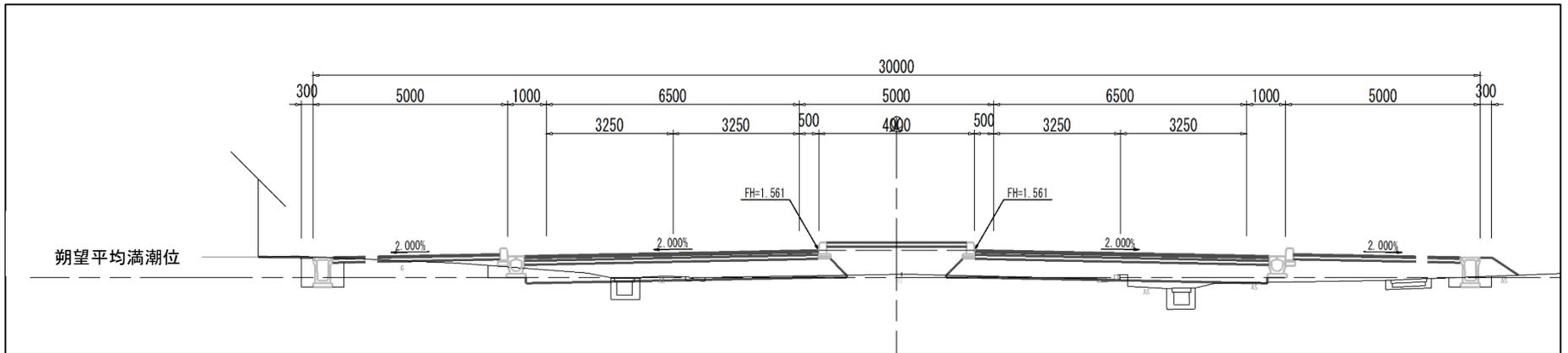


断面図

施工前



完成後



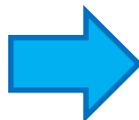
施工前写真

完成後写真

(宮城県：(都)八幡築港線)

写真①

写真①

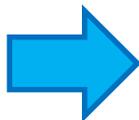


令和2年5月撮影

令和4年3月撮影

写真②

写真②



令和元年7月撮影

令和4年3月撮影

施工前写真

写真③



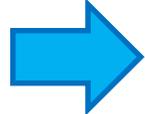
令和2年5月撮影

完成後写真

写真③



令和4年3月撮影



写真④



令和2年5月撮影

写真④

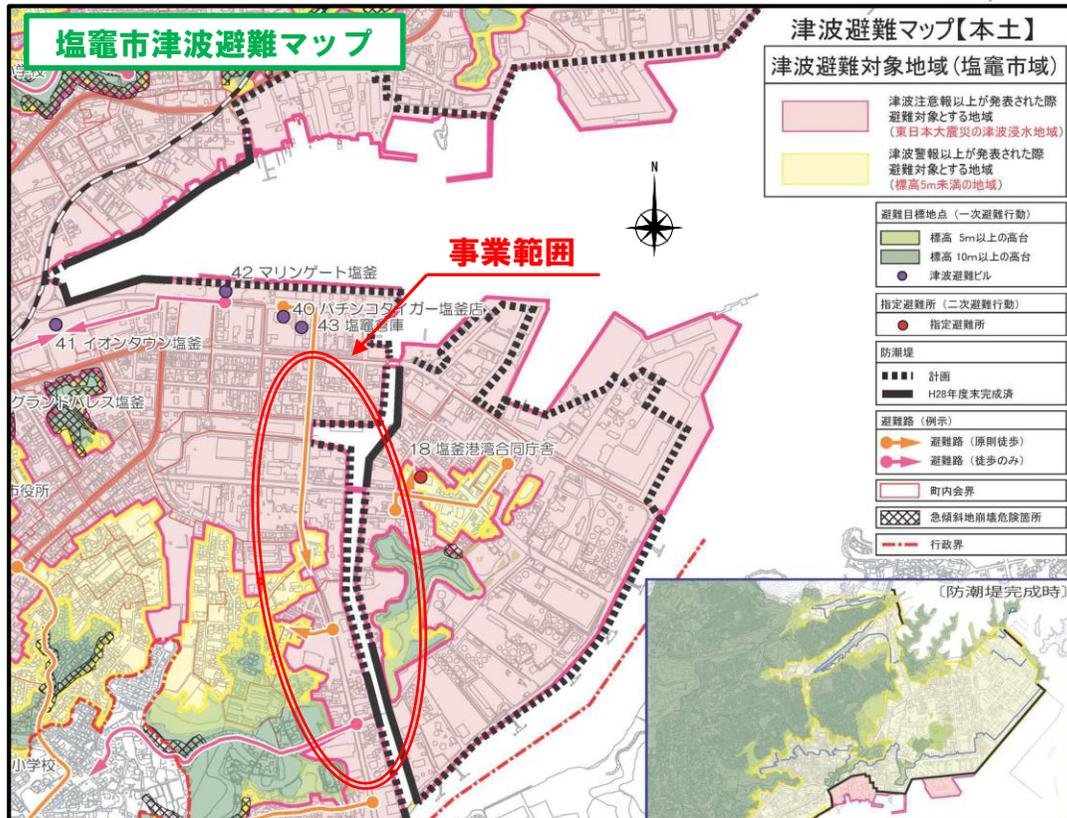
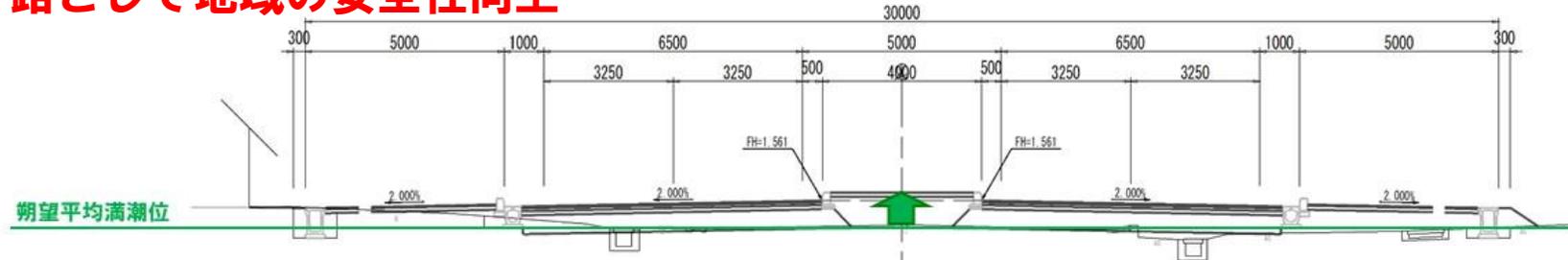


令和4年3月撮影



事業効果アピール資料

○道路嵩上げにより東日本大震災の地盤沈下による浸水被害を防止，災害時の避難路として地域の安全性向上



大潮による浸水被害



平成24年12月撮影

事業効果アピール資料

○4車線化による交通渋滞の緩和

整備前は交通量（14,417台／日）に対し、2車線の道路であったため、慢性的に渋滞が発生していたが、今回4車線化したことにより、従前の調査と同等の交通量（15,645台／日）に対して混雑は発生しておらず、交通渋滞が緩和された結果となった。

交通量調査結果

	H27.9~11 調査 (2車線)	R3.9~11 調査 (2車線)	R4.4 調査 (4車線)
12時間交通量 (台)	14,417	17,058	15,645
混雑度	1.28~1.36	1.49~1.58	0.67



整備前



整備後

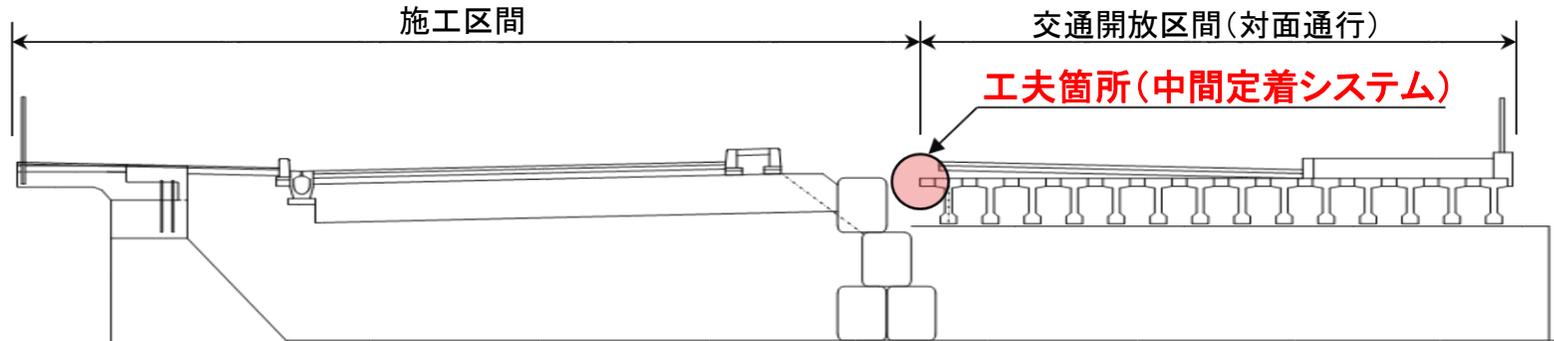
苦労や工夫等アピール資料

○現道橋撤去における交通への影響軽減の工夫

既設橋梁撤去においては、橋の構造上、部分的な撤去ができず、全面通行止めとしなければならなかったが、**中間定着システム**により、**常時対面通行が可能となったことから、通行車両への影響の軽減を図ることができた。**

横断面

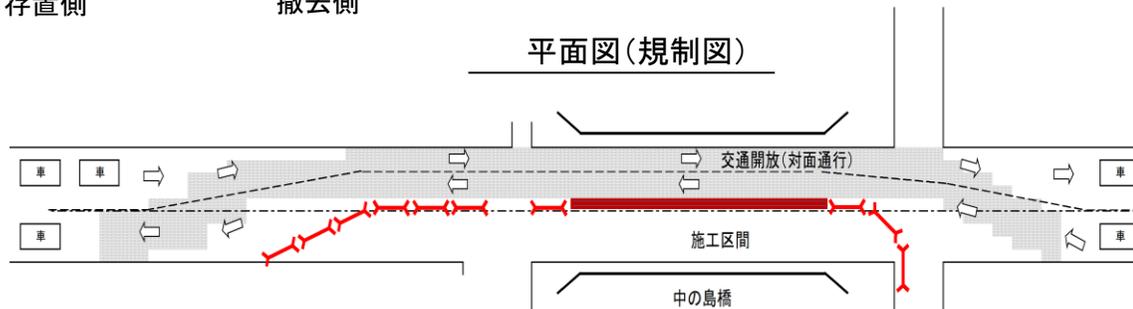
中間定着システム



中間定着システムを設置することで旧橋存置側のPC鋼棒の緊張力を保持でき、橋体の剛性が確保されることから撤去側の橋梁と切り離しが可能となった。

存置側 撤去側

平面図(規制図)



施工状況

受賞歴・報道資料



[トップに戻る](#)
[🔍 目的](#)
[📁 分類](#)
[👤 組織](#)
[🏢 事業者](#)

トップページ > まちづくり・地域振興 > 交通インフラ情報 > 一般道路 > 復興交付金事業「(都)八幡築港線」の工事が完了しました!

復興交付金事業「(都)八幡築港線」の工事が完了しました!

【概要】

(都)八幡築港線は、国際拠点港湾仙台塩釜港と仙台市内を結ぶ重要な路線となっています。東日本大震災発生時には、ガソリン不足が深刻化する中、県内で唯一の燃料基地となった塩釜油槽所からの燃料輸送路として利用され、重要な役割を果たしました。

震災の影響による地盤沈下により、大潮や大雨時の浸水被害を受けるようになったことから、災害時の緊急避難路や緊急輸送路として地域の安全性を確保するため、道路を嵩上げし4車線化の整備を進めて参りましたが、令和4年3月に完了しました。

【事業概要】

事業箇所：塩釜市舟入地内外

延長・幅員：L=1.2km・W=13.0(30.0) m

事業期間：平成23年度～令和3年度

事業費：約73億円

↓↓↓詳しくは、こちら↓↓↓

- PDF [復興交付金事業「\(都\)八幡築港線」の工事完了について \(PDF:333KB\)](#)

↓↓↓「八幡築港線」をドローンで撮影した映像をご視聴いただけます↓↓↓

(外部サイトヘリンク)。(別ウィンドウで開きます)



復興交付金事業「(都)八幡築港線」の工事が完了しました!

(都)八幡築港線は、国際拠点港湾仙台塩釜港と仙台市内を結ぶ重要な路線となっています。東日本大震災発生時には、ガソリン不足が深刻化するなか、県内で唯一の燃料基地となった塩釜油槽所からの燃料輸送路として利用され、重要な役割を果たしました。

しかし、震災の影響により、大潮や大雨時の浸水被害を受けるようになったことから、災害時の緊急避難路や緊急輸送路として地域の安全性を確保するため、道路を嵩上げし4車線化の整備を進めて参りました。

おかげさまで地域のみなさまなどのご理解、ご協力をいただき、令和4年3月に工事を完了することができました。

事業概要

事業箇所	塩釜市舟入地内外
延長・幅員	L=1.2km W=13.0(30.0)m
事業期間	平成23年度～令和3年度
事業費	約73億円

事業位置図



事業箇所周辺航空写真



完成後の状況

